

みずほCustomer Desk Report 2024/05/23 号(As of 2024/05/22)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	156.33
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	156.26	1.0854	169.72	1.2711	0.6666
SYD-NY High	156.85	1.0863	169.89	1.2761	0.6685
SYD-NY Low	156.12	1.0818	169.45	1.2701	0.6609
NY 5:00 PM	156.82	1.0822	169.67	1.2718	0.6620
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,671.04	▲ 201.95	日本2年債	0.3400%	0.0000%
NASDAQ	16,801.54	▲ 31.08	日本10年債	1.0000%	0.0200%
S&P	5,307.01	▲ 14.40	米国2年債	4.8743%	0.0446%
日経平均	38,617.10	▲ 329.83	米国5年債	4.4659%	0.0345%
TOPIX	2,737.36	▲ 22.36	米国10年債	4.4247%	0.0137%
シカゴ日経先物	38,650.00	▲ 225.00	独10年債	2.5315%	0.0255%
ロンドンFT	8,370.33	▲ 46.12	英10年債	4.2330%	0.1025%
DAX	18,680.20	▲ 46.56	豪10年債	4.2440%	▲0.0150%
ハンセン指数	19,195.60	▲ 25.02	USDJPY 1M Vol	8.53%	▲0.10%
上海総合	3,158.54	0.57	USDJPY 3M Vol	8.62%	0.01%
NY金	2,392.90	▲ 33.00	USDJPY 6M Vol	9.01%	0.02%
WTI	77.57	▲ 1.09	USDJPY 1M 25RR	▲1.14%	Yen Call Over
CRB指数	295.25	▲ 0.70	EURJPY 3M Vol	8.17%	0.08%
ドルインデックス	104.93	0.27	EURJPY 6M Vol	8.62%	0.03%

東京	東京時間のドル円は156.26レベルでオープン。40年物国債の入札結果が弱めの結果となったことをきっかけに長期金利が11年ぶりに1%の大口に乗せたが、ドル円相場への影響は限定的で、一日を通してじり高推移。結局156.44レベルで海外時間に渡った。尚、ニュージーランド準備銀行の金融政策委員会を受けてNZドル円が96円台前半まで1円近く上昇したほか、英4月CPIが予想を上回ったことを受けてポンド円も199円台前半まで1円近く上昇した。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.44レベルでオープン。本日は米長期金利が上昇する中でドルが全般に堅調。156.61で上昇した後NYに渡った。ポンドドルは、1.2747レベルでオープン。朝方に英4月CPIが予想を上回る結果に1.2761まで買われるが、ヘッドラインのインフレ率自体は低下していることもあってか程なく値を消すと、ドル買いに押され1.2711レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は156円台前半でスタート。東京円債市場では、10年債利回りが約11年ぶりの1.0%を記録するも、ドル円は反応薄。その後は米金利が上昇幅を拡大する動きを横目に底堅く推移し、156.59レベルでNYオープン。朝方は上昇していた米金利が低下する動きが上値を抑え、156.35まで小幅反落。続いて発表された米4月中古住宅販売件数は予想を下回るも、ドル円への影響は限定的。その後は下げ渋り、156.50近辺まで徐々に戻す。午後に発表された米5月FOMCの議事録では、「様々な参加者が必要なら追加引き締めに向き」、「より長期に高水準での政策金利維持が望ましい」等とのタカ派寄りの内容が示されると、ドル買いが再び強まり、終盤にかけては156.85まで上値を伸ばし、156.82レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。米金利高の展開を横目に、ギリ安での推移が続き、1.0828レベルでNYオープン。午前中は米長期金利が低下する展開を支えとし、1.0847まで戻す。しかし、午後はタカ派色の強い米5月FOMC議事録の結果を受け、ドル買い地合いが重しとなり、1.0818まで反落し、1.0822レベルでクローズ。

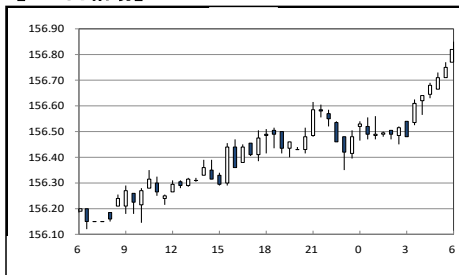
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月22日	08:50	日 貿易収支	4月 -¥462.5b	-¥297.0b
	15:00	英 CPI/CPIコア(前年比)	4月 2.3%/3.9%	2.1%/3.6%
	23:00	米 中古住宅販売件数	4月 4.14m	4.23m
5月23日	03:00	米 5月FOMC議事録	「より長期に高水準での政策金利維持が望ましい」	

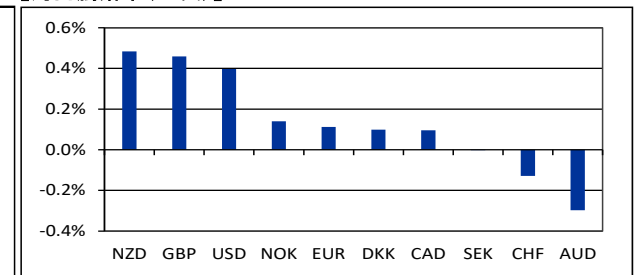
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月23日	16:30	独 製造業PMI・速報	5月 43.5	42.5
	17:00	欧 製造業PMI・速報	5月 46.1	45.7
	21:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	4月 0.13	0.15
	21:30	米 新規失業保険申請件数	18-May 220k	222k
	22:45	米 製造業PMI・速報	5月 49.9	50.0
	22:45	米 サービス業PMI・速報	5月 51.2	51.3
	23:00	欧 消費者信頼感・速報	5月 -14.2	-14.7
	23:00	米 新築住宅販売件数	4月 678k	693k
-	-	財務相・中央銀行総裁会議(25日まで)	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.90-157.50	1.0750-1.0850	169.00-171.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、156.26レベルでオープン。弱い本邦40年債入札の結果もあり円金利が上昇するも反応薄く、東京時間からじり高の展開が継続。米国時間に公表された米5月FOMC議事録がタカ派寄りを受け止められるとドルが一段高となり、156.82レベルでクローズ。

FOMC議事録はタカ派的と受け止められたが、5月の米CPI公表前に行われた会合であり、その点割り引いてみる必要がある。ただし足元のFed高官の発言を見ても早期に利下げに慎重な姿勢は変わりなく、今後複数回の物価関連指標の結果を見ながら利下げを判断していくものとみられる。6月FOMC会合に向けた利下げ機運も高まりにくく、ドルの底堅い動きは継続しよう。本日は米国で新規失業保険申請件数、PMI等が公表予定。今月に入り米国経済にやや悲観的な見方が広がったが、経済指標が強い内容となりこうした警戒が払拭されれば157円台を試す可能性も視野に入れたい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。